



© 2017 ZIH Corp and/or its affiliates. All rights reserved. Zebra and/or its affiliates' respective marks and logos are trademarks of Zebra Technologies Corporation and/or its affiliates.

<http://www.zebra.com>

Zebra Technologies Corporation

U.S.A. Corporation

Technologies

http://www.zebra.com

Technologies

Australia

http://www.zebra.com

Technologies

China

http://www.zebra.com

Technologies

India

http://www.zebra.com

Technologies

Japan

http://www.zebra.com

Technologies

Latin America

http://www.zebra.com

Technologies

Middle East & Africa

http://www.zebra.com

Technologies

United Kingdom

http://www.zebra.com

Technologies

United States

http://www.zebra.com

Technologies

http://www.zebra.com

Türkçe: AB Müşterileri için: Kullanım süresi dolan tüm ürünler geri dönüştürme için Zebra'ya iade edilmelidir. Ürünlerin nasıl iade edileceği hakkında bilgi için lütfen şu adresi ziyaret edin: <http://www.zebra.com/weee>. Hrvatski: Za kupce u Europskoj uniji: Svi se proizvodi po isteku vijeka trajanja moraju vratiti tvrtki Zebra na recikliranje. Informacije o načinu vraćanja proizvoda potražite na web-stranici: www.zebra.com/weee.

トルコ - 準拠に関する WEEE 声明
EEE Yönetmeliğine Uygundur

はじめに

FLB3678 コードレス スキャナのクレードルは、XX3678 コードレス スキャナの充電器および無線通信インターフェースとして機能します。アイソレータ 3 個でスキャナを取り付け プラケットに取り付けます。その後で フォークリフトの表面に取り付けます。

FLB3678 クレードルをご使用の場合、Bluetooth 無線でスキャナからデータを受信し、ケーブル接続によって受信データをホストに送信することができます。クレードルは充電器としても機能し、スキャナをセットするとスキャナの内蔵バッテリ パックが自動的に充電されます。フォークリフトの携帯電源からクレードルに電源を供給します。

このガイドでは、クレードルの設定方法と使用方法について説明します。データ転送に関する記述はすべて、FLB3678 クレードルに限定されます。

注意 LS3578 および DS3578 コードレス スキャナは、FLB3678 クレードルとは互換性がありません。

パッケージ内容

クレードルのパッケージの内容は次のとおりです。

- ・ クレードル
- ・ 取り付け プラケットとアイソレータ
- ・ 8-32 x 1.5 インチ ブラス ネジ 3 本 (取り付け プラケットへのクレードル取り付け用)

アクセサリ

次の機器が必要な場合があります。

- ・ 最短サイズ 1.0 インチの 1/4-20 ネジ 3 本 (取り付け面への プラケット固定用)
梱包箱は、保管や搬送時のために保存しておいてください。破損していないかどうかすべての機器を確認してください。万一、破損や不足がある場合は、直ちに Zebra サポートセンターにご連絡ください。

関連文書

LI3678 Product Reference Guide (p/n MN001740Axx)

LI3678 Quick Start Guide (p/n MN002323Axx)

DS3678 Product Reference Guide (p/n MN-002689-xx)

DS3678 Quick Start Guide (p/n MN002648Axx)

STB3678 Quick Reference Guide (p/n MN002334Axx)

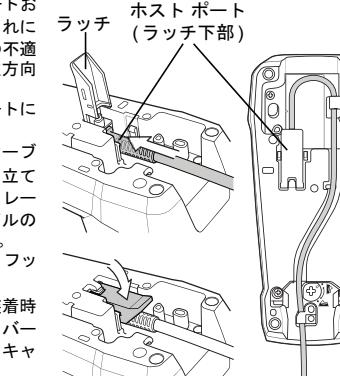
Forklift Mounting Plate Template (p/n MN-002769-xx)

この文書は、www.zebra.com/support から入手できます。

クレードルの接続

△ 重要 スキャナとクレードルの正しい動作のため、必要に応じて次の手順でインタフェースケーブルと電源を接続してください。

1. 必要に応じて、適切なケーブルを電源ポートおよび AC 電源コンセントに接続します。これにより、ホストの検出が保証され、ホストの不適切な検出によって誤ってクレードルが逆方向に給電されるのを防ぐことができます。
2. インタフェース ケーブルをホスト ポートに接続します。
3. クレードルのラッチを持ち上げます。ケーブルコネクタ ラッチ (クレードルから) 立てた状態で、インターフェース ケーブルをクレードルのポートに差し込みます。クレードルのラッチを閉じて、ケーブルを固定します。
4. 必要に応じて、ホスト ケーブルをケーブル フックの下から溝に沿って配線します。
5. スキャナをクレードルに装着するか (装着時のペアリングが有効な場合)、ペアリング バーコードをスキャナすることによって、スキャナをクレードルとペアリングします。
6. インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャンします。詳細については、『Product Reference Guide』を参照してください。



ホストインターフェースの変更

接続先を変更する場合や、使用的ケーブルを変更する場合は、次の手順に従ってください。

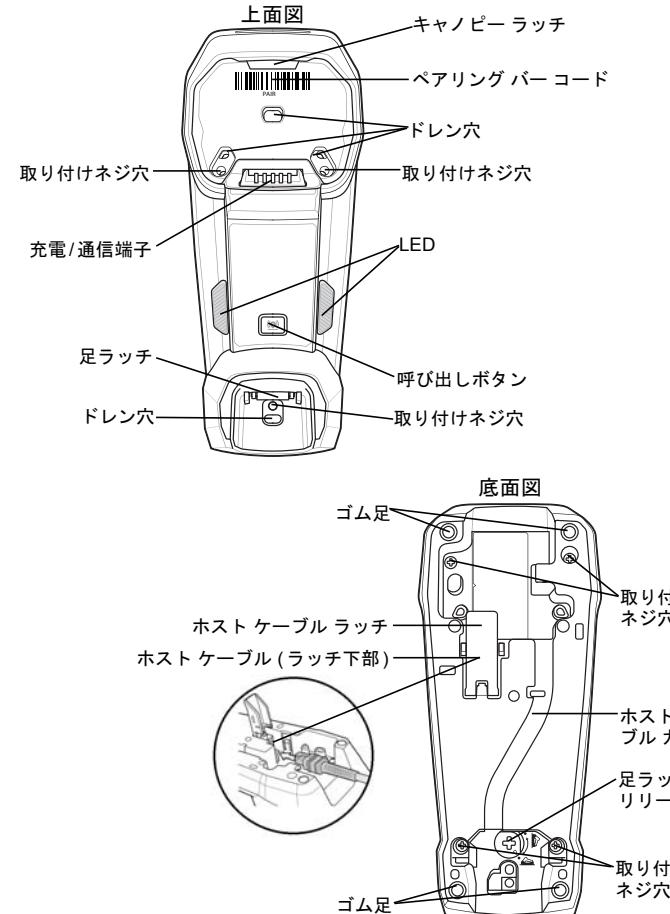
1. ホストからインターフェース ケーブルを取り外します。
2. クレードルから電源ケーブルを取り外します。
3. インタフェース ケーブルを新しいホストに接続します (接続先を変更する場合)。または、新しいインターフェース ケーブルを既存のホストに接続します (ケーブルを変更する場合)。
4. 必要に応じて、電源ケーブルを再接続します。
5. インタフェースが自動検出されない場合は、適切なホスト バーコードをスキャンします。詳細については、『Product Reference Guide』を参照してください。

ホストインターフェースを使用した電力の供給

ホストによっては、外部電源ではなくホストインターフェースを介してクレードルに電力を供給できる場合があります。

△ 注意 ホスト エンドへのケーブルを取り外す前に必ず DC 電源を取り外してください。そうでないと、クレードルが新しいホストを認識できない場合があります。

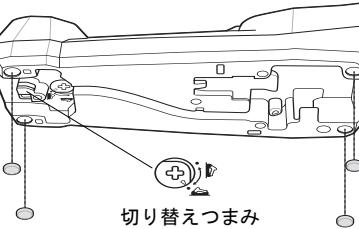
クレードル各部の名称



クレードルの取り付け

卓上での使用

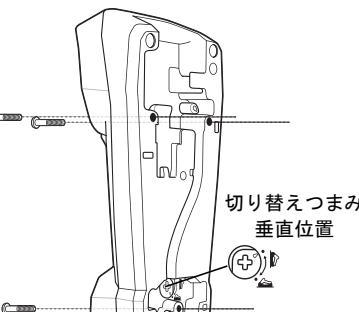
1. 取付場所切り替えつまり (卓上/壁面) が、右記のように正しい位置に設定されていることを確認します。
2. クレードルを卓上で使用し、固定する必要がない場合は、クレードルのパッケージに入っているゴム足の裏側から保護用の紙をはがし、クレードルのプラスチックにあるくぼみにゴム足を取り付けます。これによりクレードルが安定し、設置面に傷が付くのを防ぐことができます。



△ 注 壁面に取り付ける場合は、ゴム足を使用しないでください。

クレードルを壁面に取り付けるには、次の手順に従ってください。

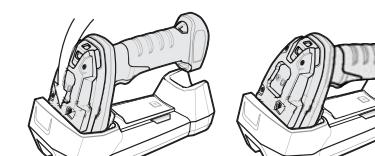
1. プラス ドライバーを使用して、切り替えつまり (卓上/壁面) を下記の位置に切り替えます。正面のラッチが突起します。このラッチにハンドル底部のくぼみがはまり、スキャナが固定されます。
2. インタフェース ケーブルと電源ケーブルを取り付けます (『クレードルの接続』を参照)。
3. ケーブル溝に沿ってケーブルを配線します。
4. 設置面にクレードルを配置します。このガイドに記載されている壁面取り付けテンプレートを使用することができます。
5. クレードルの底部にある 3 つの穴で取り付け面に印をかけておきます。または取り付けテンプレートを使用して、ネジ穴位置の印を決めます。
6. 1.5 インチの #8 ブラス ネジを留める 3 カ所に軽く穴を開けておきます。
7. 設置面にクレードルをしっかりと取り付けます。
8. スキャナをクレードルに設置します。



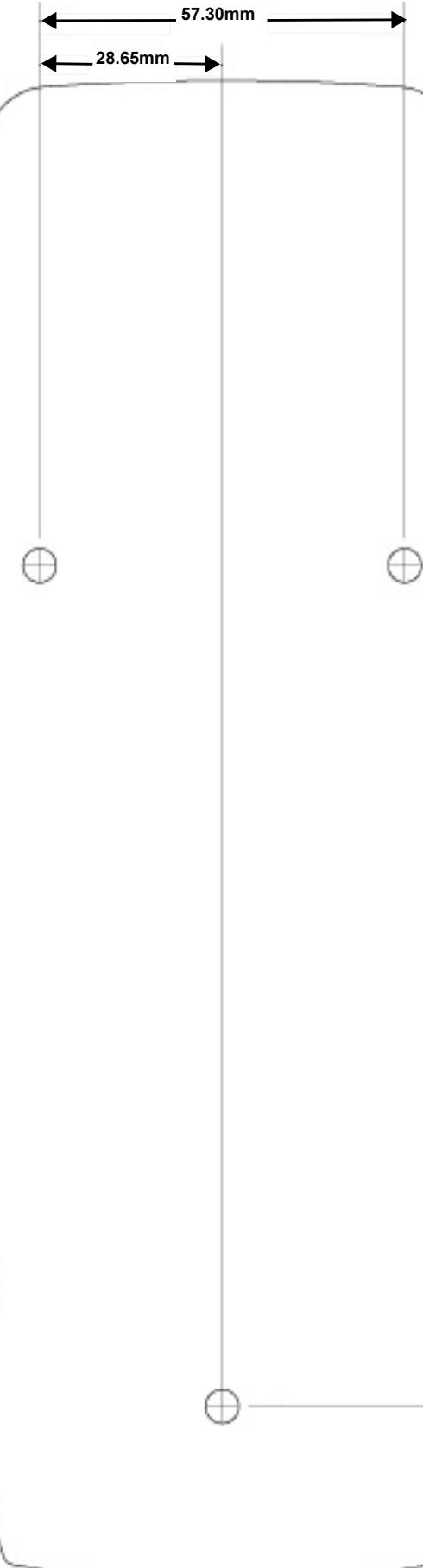
△ 注意 クレードルに液体をこぼしたり、吹きかけたりしないでください。

クレードルにスキャナを装着するには、次の手順に従います。

・ まずスキャナ上部をはめ込みます。クレードルとスキャナの端子を合わせて、カチッと音がするまでハンドルを押し込みます。



壁面取り付けテンプレート



ホストコンピューターへのデータの送信

クレードルは無線通信によってスキャナからデータを受信して、それをホストケーブルによってホストコンピューターに転送します。無線通信を確立するには、スキャナとクレードルのペアリングを実行する必要があります。

ペアリング

✓ 注 スキャナをクレードルに接続するペアリング バーコードは、各クレードルにより異なります。
ペアリングが完了するまで、データやパラメータをスキャンしないでください。

ペアリングを実行してクレードルにスキャナを登録すると、そのスキャナとクレードルの間でデータ交換が可能になります。FLB3678 の動作モードには、シングルポイントモードとマルチポイントモードの 2 つがあります。シングルポイントモードでは、スキャナをクレードルに装着するか (装着時のペアリングが有効な場合)、ペアリング バーコードをスキャナすることによって、スキャナをクレードルとペアリングします。マルチポイントモードでは、1 台のクレードルと最大 7 台のスキャナをペアリングできます。

スキャナをクレードルとペアリングするには、ペアリング バーコードをスキャナします。ペアリングとリモート機器への接続が完了すると、高音 - 低音 - 高音 - 低音に続いて低音 - 高音という順番でビープ音が鳴ります。ペアリングが正しく完了しなかった場合は、長い低音 - 長い高音の順番でビープ音が鳴ります。

ホストへの接続の切断

スキャナしたデータがクレードルの接続先ホストに正しく転送されない場合は、すべてのケーブルがしっかりと接続されていることと、電源が正常に動作している AC コンセントに接続されていること (該当する場合) を確認します。それでもスキャナしたデータがホストに転送されない場合は、ホストへの接続を再確立してください。

1. クレードルから電源ケーブルを取り外します。
2. クレードルからホストインターフェース ケーブルを取り外します。
3. 3 秒間待機します。
4. ホストインターフェース ケーブルをクレードルに接続し直します。
5. 必要に応じて、電源ケーブルをクレードルに接続し直します。
6. ペアリングのバーコードをスキャナし、クレードルとのペアリングを確立し直します。

クレードルでのスキャナ バッテリの充電

スキャナで新しいバッテリを使用する場合は、最初にバッテリを充電する必要があります。バッテリをスキャナに取り付け、スキャナを FLB3678 クレードルに装着します (『クレードルにスキャナを装着する』を参照)。バッテリの充電が開始されると、スキャナの LED インジケーターが黄色で点滅します。バッテリの充電が完了すると、クレードルの LED が緑色で点灯します。完全に充電したバッテリをフル充電するには、外部電源を使用する場合で最大 3 時間、USBインターフェース ケーブルを使用する場合で最大 10 時間かかります。

クレードルの LED インジケーター

LED	意味
緑色	電源オン
緑色の点滅	Bluetooth 接続が確立されました
青色	呼び出しボタン
バッテリの表示	
黄色	充電が必要
黄色の点滅	充電中
黄色ですばやく点滅	充電エラー
緑色	バッテリ充電完了

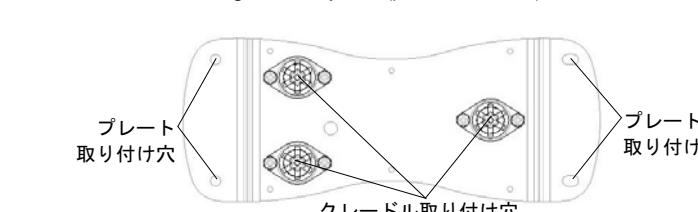
トラブルシューティング

本ガイドの手順に従ってもクレードルが正常に動作しない場合は、次の項目を確認してください。

- ・ システムの電源を確認してください。
- ・ ケーブルの接続が緩んでいないかどうかを確認してください。
- ・ スキャナがクレードルにしっかりとセットされているかどうかを確認してください。
- ・ ホストが正しく設定されていることと、クレードルがホストの適切なポートに接続されているかどうかを確認してください。

フォークリフト取り付けプレート

フォークリフト取り付けプレート (p/n BRKT-MM0036W-00) は、フォークリフト トラックへの設置において振動がスキャナとクレードルに与える長期の損害を減らすために必要です。詳細については、『Forklift Mounting Plate Template』 (p/n MN-002769-xx) を参照してください。



✓ 壁面取り付けテンプレートが含まれる FLB3678 QRG を印刷する場合は、正しい寸法で印刷されるように、必ず [Page Sizing and Handling] (ページ サイジングおよび処理) を [Actual Size] (実際のサイズ) に設定してください。